

# アルファ・ウイン 企業調査レポート

## アグロ カネショウ

(4955 東証一部) 発行日：2018/5/21

アルファ・ウイン 調査部  
<http://www.awincap.jp/>

### ● 要旨

#### ◆ 2018年12月期第1四半期決算

- ・アグロ カネショウ（以下、同社）の2018/12期第1四半期（以下、1Q）の決算は、売上高が前年同期比2.4%増の4,854百万円、営業利益は同13.7%減の988百万円、経常利益は同15.4%減の952百万円、純利益は同4.0%減の675百万円であった。
- ・増収にも関わらず営業減益となったのは、採算性の比較的低い海外売上高が伸長する一方、採算性の高い国内向け売上高の減少により、売上総利益率が40.8%と前年同期比5.2%ポイント低下したためである。販売費及び一般管理費は前期比4.3%減、対売上高比率は20.5%と同1.4%ポイント低下した。前期に研究開発を取りやめた剤があったことから研究開発費が減少したためである。結果、売上高営業利益率は20.4%と同3.7%ポイント低下し、二桁減益となった。

#### ◆ 2018年12月期第1四半期のセグメント別概況等

- ・2018/12期1Qの製品の種別売上高をみると、
  - ア) 害虫防除剤は1,131百万円(前年同期比10.1%増)。主に海外向けダニ剤カネマイトフロアブルが東南アジア、中東向けに好調で前年同期を上回ったことが貢献し、二桁増収となった。
  - イ) 病害防除剤は444百万円(同2.8%増)。キノドナー剤が若干減少したが、全体としては増収を確保した。
  - ウ) 土壌消毒剤は2,159百万円(同2.5%減)。海外向けはバスアミド、D-Dが好調で前年同期を上回ったものの、国内向け減収が影響した。国内向けの減収要因は、前年同期に適用拡大により大幅増であったネマキック粒剤の反動減やバスアミドの生産遅れによる減収、また今期からD-Dの値上げを実施したが前期に発生した値上げ前の駆け込み需要の反動減などである。
  - エ) 除草剤等は692百万円(同5.6%増)。営業努力したモゲトンの貢献により増収となった。
  - オ) その他は425百万円(同3.7%増)。家庭園芸関連、植物成長調整剤、展着剤が堅調で増収となった。
- ・研究開発費は今期通期555百万円(前期比14.9%減)としている。

#### ◆ 業績予想に対する進捗率の状況

- ・今期2Q累計業績の会社予想に対する1Qの進捗率は、売上高52.9%、営業利益56.4%である。前年同期の2Q累計業績に対する1Qの進捗率は、売上高58.3%、営業利益89.4%であった。第2四半期の売上高は、土壌消毒剤を中心とする国内売上高が堅調に推移する見通しであるが、今期2Q累計業績の会社予想の売上高を達成することはやや難しい状況である。同時に第2四半期累計の営業利益の会社予想は未達となる可能性が高いと思われる。
- ・前述の通り、第2四半期以降の国内の土壌消毒剤売上高は、バスアミドの生産回復、ネマキック粒剤の復調期待等から堅調に推移する見通しである。したがって、今期通期の売上高予想を、会社は修正しないとしている。今期通期の営業利益の会社予想も同様である。
- ・アルファ・ウイン調査部（以下、当調査部）も、土壌消毒剤の国内売上高が第2四半期以降回復すると見込み、現段階では今期業績予想を修正しない。
- ・TCA活動の一環として、地域の農業・栽培問題解決のための研究実践農場の運営活動を前期より開始し、今般開示した。最終需要家である農家との共同作業で新たな栽培方法を開発するためである。

#### 決算メモ

1/3

アルファ・ウイン企業調査レポート(以下、本レポート)は、掲載企業のご依頼によりアルファ・ウイン・キャピタル株式会社(以下、弊社)が企業内容の説明を目的に作成したもので、投資の勧誘や推奨を意図したものではありません。本レポートに掲載された内容は作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。本レポートに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。弊社は、本レポートの配信に関して閲覧した投資家の皆様が本レポートを利用したこと、又は本レポートに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失利益及び損害を含むいかなる結果についても責任を負いません。最終投資判断は投資家ご自身においてなされなければならず、投資に対する一切の責任は閲覧した投資家の皆様にあります。また、本件に関する知的所有権は弊社に帰属し、許可なく複製、転写、引用、翻訳等を行うことを禁じます。

【 4955 アグロ カネショウ 業種：化学 】

決算期		売上高 (百万円)	前期比 (%)	営業利益 (百万円)	前期比 (%)	経常利益 (百万円)	前期比 (%)	純利益 (百万円)	前期比 (%)	EPS (円)	BPS (円)	配当金 (円)
2016/12	通期	14,314	-1.9	2,063	-14.8	2,102	-20.5	1,285	-11.6	101.15	1,236.43	22.0
2017/12	通期	14,587	1.9	2,096	1.6	2,094	-0.4	1,922	49.5	152.11	1,406.75	22.0
2018/12	通期CE	15,902	9.0	2,371	13.1	2,379	13.6	1,316	-31.5	103.62	—	22.0
2018/12	通期E	16,000	9.7	2,450	16.9	2,458	17.4	1,380	-28.2	108.92	1,479.95	22.0
2017/12	1Q	4,742	-2.4	1,144	3.0	1,124	2.8	702	3.9	55.63	—	—
2017/12	2Q	8,138	-1.5	1,280	-15.3	1,277	-13.0	1,506	71.4	119.16	—	10.0
2018/12	1Q	4,854	2.4	988	-13.7	952	-15.4	675	-4.0	53.42	—	—
2018/12	2QCE	9,180	12.8	1,753	36.9	1,755	37.4	997	-33.8	78.64	—	10.0

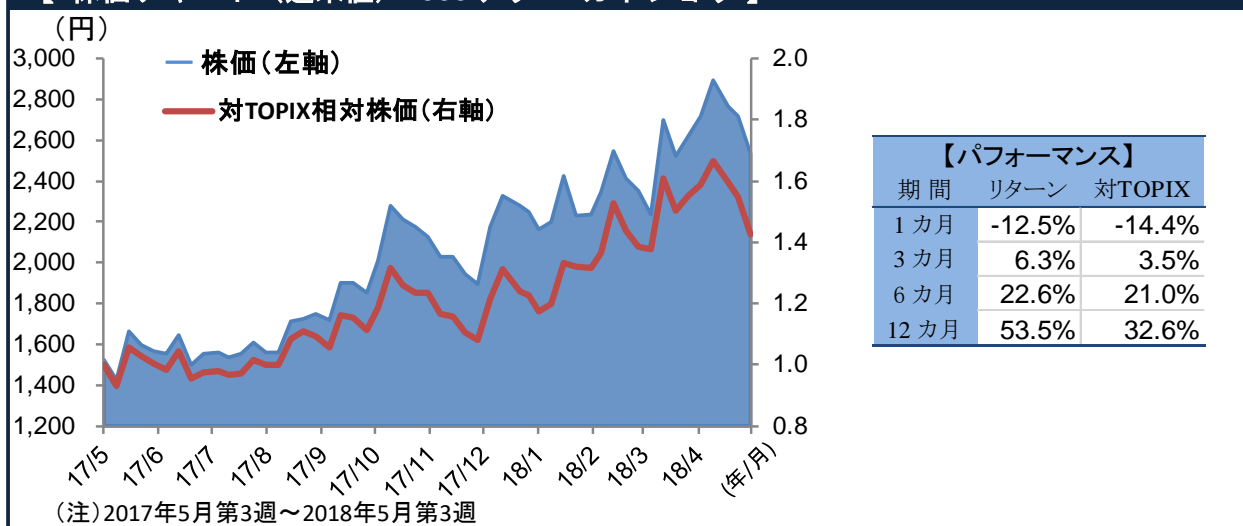
(注)CE:会社予想、E:アルファ・ウイン調査部予想、2Qは累計会計期間

【 株価・バリュエーション指標：4955 アグロ カネショウ 】

項目	2018/5/18	項目	PER (倍)	PBR (倍)	配当利回り	配当性向
株価 (円)	2,532	前期実績	16.6	1.8	0.9%	14.5%
発行済株式数 (千株)	13,404	今期予想	23.2	1.7	0.9%	20.2%
時価総額 (百万円)	33,941					
潜在株式数 (千株)	0	前期末自己資本比率		67.1%	前期ROE	11.5%

(注)予想はアルファ・ウイン調査部予想

【 株価チャート (週末値) 4955 アグロ カネショウ 】



## ディスクレーマー

アルファ・ウイン 調査メモ（以下、本メモ）は、掲載企業のご依頼によりアルファ・ウイン・キャピタル株式会社（以下、弊社）が作成したものです。

本メモは、投資の勧誘や推奨を意図したものではありません。弊社は投資家の皆様が本レポートを利用したこと、又は本メモに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失利益及び損害を含むいかなる結果についても一切責任を負いません。最終投資判断は投資家ご自身においてなされなければならない、投資に対する一切の責任は閲覧した投資家の皆様にあります。

本メモの内容は、一般に入手可能な公開情報に基づきアナリストの取材等を経て分析し、客観性・中立性を重視した上で作成されたものです。弊社及び本レポートの作成者等の従事者が、掲載企業の有価証券を既に保有していること、あるいは今後において当該有価証券の売買を行う可能性があります。

本メモに掲載された内容は作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。本メモに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。

本メモの著作権は弊社に帰属し、許可なく複製、転写、引用、翻訳等を行うことを禁じます。連絡は、電子メール【[info@awincap.jp](mailto:info@awincap.jp)】にてお願いいたします。但し、お問い合わせに対し、弊社及び本レポート作成者は返信等の連絡をする義務を負いません。

取材や客観的な事実に基づいて、極力、中立的な立場からレポートの記載に努めています、また、会社による予想や判断と弊社による予想及び判断を区分し、記載するようにしております。

本メモについてのお問い合わせは、電子メール【[info@awincap.jp](mailto:info@awincap.jp)】にてお願いいたします。